



大銀杏

根 城



南部師行公

2019年度 第7号

八戸市立根城中学校 令和元年10月30日発行

届きましたか？

今年の文化祭テーマは「届」でした。それぞれの生徒が展示作品やステージ発表を通して、自分の想いを誰かに届けるために、準備を進めてきました。



※全校生徒で制作したモザイク画。体育祭の熱気とエネルギーが届きました。

「届け」と願った自分の想いが、相手に「届いた」のでしょうか。また、「届け」に込められた相手の想いが、自分に「届いた」のでしょうか。それは、口頭でのコメントだけではなく、感想や表情、拍手や声援等によってもわかります。当日のシーンを思い出してみてください。あなたの想いは、相手の想いは、届きましたか？

小学生と“共”に“助”け合い

10月12日(土)に本校体育館において、根城地区連合町内会自主防災会主催の訓練が行われました。台風19号接近に伴い風雨が激しくなることが予想されたため、開催が危ぶまれましたが、前日に地域の代表の方々と学校との協議の結果、「警報」が発表されていなければ決行という結論に達しました。

当日の天候を心配して、外のテント内で行う炊き出しは中止しました。それ以外の訓練内容は昨年よりもレベルアップし、台風の影響もあいまって緊張感のある訓練となりました。今年の新たな試みは次の4点です。

- ①根城小の高学年の有志が参加し、共助のための行動や心構えを学んだ。
- ②避難者受付を体育館玄関から体育館内後方へ移動させた。
(風雨や風雪、低い外気温の中で待つことを避けるため)
- ③中学生が町内ごとに集まり、それぞれの地域における危険箇所を載せたハザードマップを製作した。
- ④中学生がダンボールを使って、居住スペース確保のためのパーティションを事前に製作するとともに、当日は小学生に作り方を教え、共助の意識を高めた。

自主防災会の皆さん、お世話になりました。



※パーティション作りを学ぶ小学生

国際理解教育～海外の様子や文化に触れて～

9月19日(木)海外から講師を招いて総合学習の国際理解教育の一環として、2年生と3年生を対象に学年ごとに講演会を行いました。講師はオーストラリア在住のゴビンダサミイ橋本佳代子さんで、オーストラリア国籍をもつインド人のご主人と来校されました。橋本さんは青森県出身で、関東の大学に在学中に国の推薦を受けてインドの国立大学に留学した経験をおもちの方です。現在はオーストラリアの高校で日本語の教師をされています。そして、高校側から休みをもらい、インドの貧困な女の子のためにプロジェクトを立ち上げました。そのプロジェクトについての橋本さんからの資料を載せます。



インド国立ビシュババハラティ大学に留学し、当時の飲み水も電気もない暮らしをして以来、インドの特に貧困層の人々への思いが募りました。以来学校訪問、孤児院訪問によって教育物資の支援を個人的に続けてきました。2014年、インドの女性たちが被る社会問題、差別、人権の否定など様々な問題の一つである『生理用のナプキンがないから学校を辞める』という見出しに心を打たれました。インドのカースト制度の不触民や貧困層に生きる人々が、そこから脱出する唯一の手段は教育を受けること。その教育をも否定されてしまう現実。しかし、単なる使い捨てナプキンの普及は一時的な満足に終わり、汚物のゴミによる環境問題を引き起こします。そこで洗って何度も使える布ナプキンを土地の女性たちが作ることを思いつきました。女性たちの技術向上、経済的独立を目指し、また学校訪問によって女子学生が生理によって不潔になるのではないという真実を教育することで、本当の意味の女性解放を目指します。布ナプキンを使うことで学校を休んだり辞めたりする必要がなくなり、教育を全うし、本来の可能性を生きることができるようになってほしい。同時に布ナプキンのリユーズによってゴミの量を減らすことは、ゴミ処理が行き渡っていないインドにおいて必要不可欠な環境維持の手段です。布ナプキンの生産者、布ナプキンの利用者、そしてそれを精神的にまたは経済的に支援して下さる皆様を含む全参加者が一つになり調和の力を築くエンパワメントを目指しています。

橋本さんの生きざまとインドの現状を、中学生にわかりやすく伝えてもらいました。生徒の感想には「当たり前で生活している、自分たちは幸せだ・・・」「橋本さんの生活はすごい・・・」など、一人の女性の生き方に感銘を受け、インドの子供たちの生活と自分たちの生活の違いに驚いている感想が多く書かれていました。

中国から来八(根城中へ)～海外の様子や文化に触れて～

中国の蘭州市にある学校の教員2名が、八戸に学校の視察研修に来ます。2週間ほど八戸に滞在しますが、11月5日(火)～13日(水)の間は根城中学校での研修視察となり、学校の様子を見学したり、実際に授業に参加したりする予定です。是非この機会に中国の文化等に触れてみたいものです。去年は、同じ蘭州市から生徒の代表団が根城中を訪れていました。

グローバルな時代となってきていることを感じさせます。